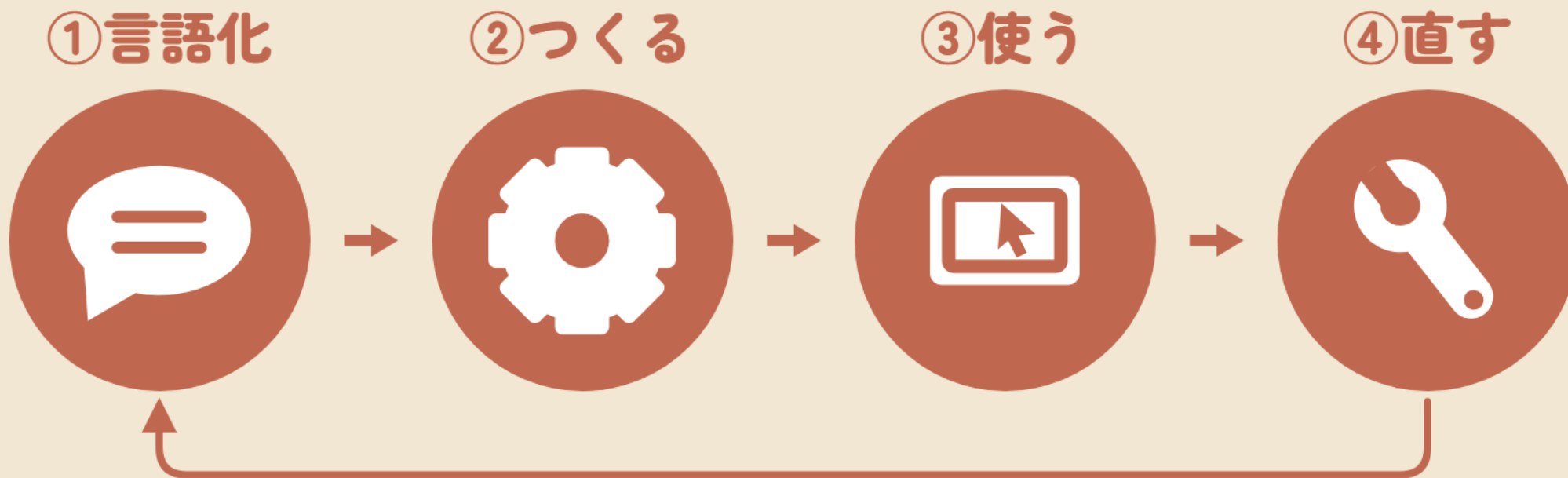


気に入った作業は、 スキルにして使い回す

同じことを繰り返しているなら、それは仕組み化のサイン



前回までのおさらい — たった4つのループ°



今日は、身につけた手順そのものを、使い回せる形にする



同じ「繰り返さない」でも、向いている場面が違う

※このコースではClaudeを前提に説明しています。ChatGPTのCodexなど他のAIツールは仕組みが異なります。

スキル

(Claude Codeの機能)

- ・決まった手順を、そのまま持ち運べる型
- ・会話をまたいで、いつでも呼び出せる
- ・毎回同じ形で再現したい作業向き

コワーク

(Claude／Claude Coworkの機能)

- ・案件・テーマ専用の作業場所
- ・素材ややり取りが、その場所に積み重なる
- ・続けて育てていく仕事向き



いい感じになったところで、AIに聞く

繰り返す

同じ面倒に、ループを何度か回す

言語化して、つくって、使って、直す。同じ面倒に対して、これを何度か回す。

仕上げ

スキルかコワークか、AIに聞く

手ごたえがいい感じになってきたら、そのままAIに聞いて、どちらか一方に決める。



決めたら、そのまま作ってもらう

依頼

これをスキルにして、と伝えるだけ

スキルかコワークが決まったら、そのままAIに頼んで作業してもらう。

（Claude Codeなら「これをスキルにして」、Claudeならコワークとして保存してもらう）

発動

次回からは、勝手に動き出す

同じ作業を始めた途端に、保存したスキルやコワークが自動的に発動し、進めてくれる。



AIに任せること VS 人が手放さないこと

AIに任せる

- ・判断の材料をもとに、型へ組み立てること
- ・手を動かして、中身を作ること

人が手放さない

- ・同じことをしている、と気づくこと
- ・型にする価値があるか判断すること
- ・出来上がりが求めていたものか、確かめること



面倒だったことが、 気づけば勝手に片づいている

いい感じになるまでループを繰り返し、スキルがコワークにする。
次に同じ面倒が来たときは、それがひとりでに動き出す。

面倒を、自動で片づく仕組みに変えていく。



ここから先は、 もう教わる段階じゃない

答えるAIと手を動かすAIの違いから、
4つのループ、言語化、そして今日のスキル化まで。
あなた自身の面倒を、あなた自身の言葉にして、
あなた自身のループで回していく番です。

無料AIユーザーレベルチェック →

ai-sozo.com/tools/ai-user-level

